

OMOIYARI

防音ドア片開き [G30]

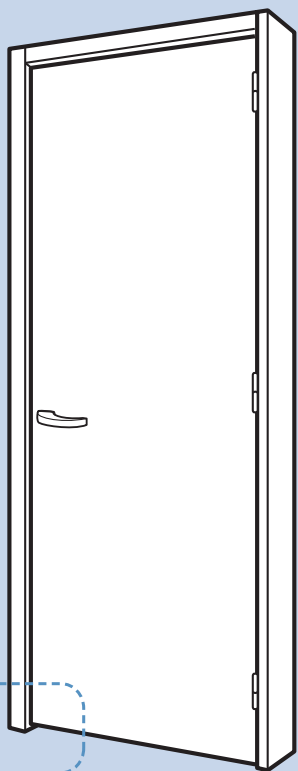
〈固定枠／見切枠〉

施工業者様へ

弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容を記載した「取扱説明書」を添付しております。

必ず、取扱説明書をお施主様に手渡し、使用方法を説明していただきますようお願いいたします。

※取扱説明書は下記のURLからダウンロードできます。
<https://www.daiken.jp/pro/download/manual/>



◆ 施工上のご注意

- 本製品は、高さカットなしで床上に施工する仕様としております。枠をカットせずにお使いください。



縦枠下部



要 保 管

この説明書は、扉の吊込や調整方法が記載されておりますので、工事期間中は大切に保管し、紛失しないようご注意ください。

もくじ

施工説明書

1. 安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと) 1
2. 全体図 2
3. 部材・部品表 2
4. 施工方法 3~11
5. 製品寸法図 12

- この製品の性能と安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき、手順通りに正しく施工してください。
- この説明書に出てくる ,  マークや **お願い** は、施工上重要な内容が記載されていますので、注意深く読み、よく理解してから作業してください。
- 製品を廃棄する際は、法律および地方自治体の規則に基づいて適切に処理してください。
- 梱包材や残材は、法律にしたがって適切に処理してください。
- 本製品はパッキンがあるので一般的なドアと比べて閉鎖時に多少抵抗があります。ご了承ください。

取扱説明書

1. 安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと) 13
2. 使用上のお願い 14
3. お手入れのしかた 14



■ 施工の際は以下の工具をご用意ください。

- 電動ドライバー (+2番ビット)
- コンベックス等測定機器
- 水準器 ● 手回しドライバー ● 下げ振り




1. 安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと)

弊社製品を長時間安全に使えるよう施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

警告表示の種類と内容

	警告	誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のある内容
	注意	誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつく内容

本文中に使われている図・記号の意味は次のとおりです。

	してはいけない内容です		必ず実行していただく内容です		留意事項、操作方法、使用・お手入れ方法等
---	-------------	---	----------------	---	----------------------

施工上のご注意

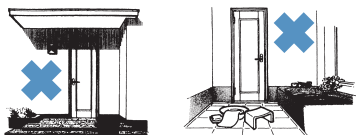
注意



- ・ 施工に使用する部品は「現場手配」と明記の無いもの以外は、必ず付属部品および指定部品を使用する
- ・ 枠の躯体への固定を確実にこなう
- ・ 施工は本説明書にしたがって確実にこなう
- ・ **本ドアは遮音性能を発現させるため、気密性を高めており、24時間換気の通気経路になりません。別途換気経路を確保してください。**



このドアは室内専用ドアです。他の用途へのご使用はおやめください。



工事が完成するまでの間、扉は立てかけて保管しないでください。

施工するまで保管するときは、湿度が高い場所や直射日光が当たる場所を避けてください。扉は水平な場所に平積みして保管してください。



本説明書は当社カタログに掲載の標準品に準じた寸法を表示しております。特注・特寸で製造した製品については、現品のサイズ・加工などを確認のうえ施工してください。



枠の水平・垂直等建付を確認してから取り付けてください。防音性能の劣化や開閉不具合の原因となります。ドアと戸当りのパッキンとの間に隙間が生じる場合は、再度枠の建付を確認して正しく施工してください。



工事が完成するまで、製品をダンボールなどで養生してください。その際、養生テープを製品に直接貼らないでください。表面化粧がはがれたり、接着剤が付着する可能性があります。



照明灯、ストーブなどを近づけすぎないでください。熱によるシート変色、ふくれ等の原因となります。



開口部の床はレーザー等を用いて水平を出して施工してください。床が傾いていたり凹凸があると、エアタイトパッキンと床との間に隙間が生じ、防音性能劣化の原因となります。



扉・枠及び金具等に工具をぶつかけたり、運搬時にひきずらないようにご注意ください。傷をつける恐れがあります。



枠や沓摺をコンクリートやモルタルに直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、接触部分に必ず防水処理をしてください。



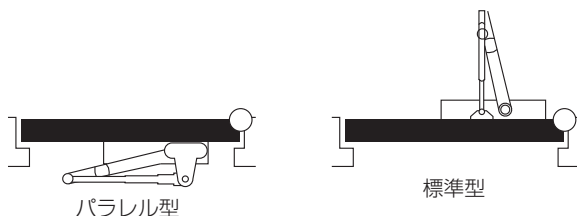
開き戸ダンパーは使用できません。ストップ機能付きの弊社指定のドアクローザでご対応ください。

お願い

標準型のドアクローザは見切枠にはご使用いただけません。詳しくはカタログ「OMOIYARI防音ドア片開き [G30]」の部材・オプションページをご確認ください。

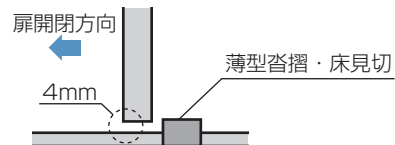


薄型沓摺・床見切を使用される場合は、エアタイトパッキンの動作範囲に段差が生じないように（扉を開く方向とは逆側に薄型沓摺・床見切が納まる）してください。床面とドアの隙間は4mmが標準施工となります。



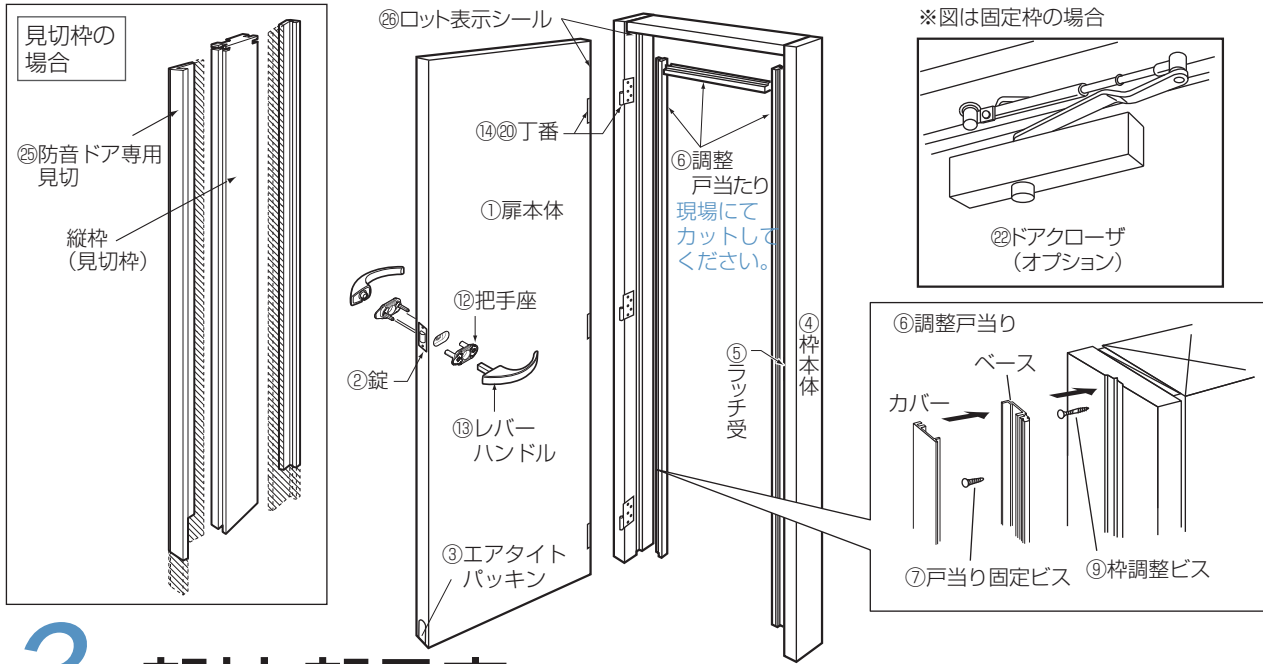
パラレル型

標準型



扉を一度取りはずし、再度取り付ける場合は、本書の施工手順を参照いただき、手順にしたがって行ってください。

2. 全体図



3. 部材・部品表 (施工前に必ず部品を確認してください。)

部品名称		数量	備考
扉セット	① 扉本体	1	
	② 錠	1	扉本体に取付済
	③ エアタイトパッキン	1	扉本体に取付済
枠セット	④ 枠本体	1	3方枠(縦枠2、上枠1)
	⑤ ラッチ受	1	枠本体に取付済
	⑥ 調整戸当り(ベース・カバー)	縦用2対 横用1対	ベース カバー
	⑦ 戸当り固定ビス	35 (予備含む)	φ3.5×20 座付ビス
	⑧ 金具セット 枠組立ビス	4	φ4.2×50
	⑨ 枠調整ビス ※薄壁枠には同梱されていません	10	φ5.3×55
	⑩ 接着剤(電気錠特注の場合のみ)	1	酢酸ビニル・エチレン共重合 エマルジョン接着剤
施工説明書・取扱説明書	⑪ 施工説明書・取扱説明書	1	必ずお施主様にお渡しください。
	⑫ 把手座(レバーハンドルの場合)	1	
把手セット	⑬ レバーハンドル	1	
	丁番セット (※追加)	⑭ ドアクローザ用丁番	3
⑮ 丁番取付ビス(扉側用)		15	サラ4×23
⑯ 丁番取付ネジ(枠側用)		15	サラM4×25
⑰ 左右調整スペーサー		3	厚み1.0mm
⑱ 扉用アタッチメント		3	
⑲ 上下調整用リング		3	厚み1.5mm 内径8φ, 外径13φ
⑳ 調整丁番		3	
㉑ 丁番取付ビス(扉側用)		12	サラφ3.8×25
㉒ 丁番取付ネジ(枠側用)		15	サラM4×25
オプション金具・その他		㉓ ドアクローザ	1
	㉔ 簡易本締錠	1	錠本体、チューブラ錠、受け座
	㉕ 美和ロック本締錠	1	現場取付品
	㉖ 防音ドア専用見切	1	見切枠の場合のみ
	㉗ ロット表示シール	1	上枠の端部(扉側)、扉の上用丁番上部に貼付け

必要梱包 扉セット+枠セット+把手セット+丁番セット+見切(見切枠の場合のみ)
※ドアクローザ、簡易本締錠、美和ロック本締錠を使用する場合は別途、各セットが必要です。

❗ 梱包をあけて、不足部品がないか確認してください。

4. 施工方法

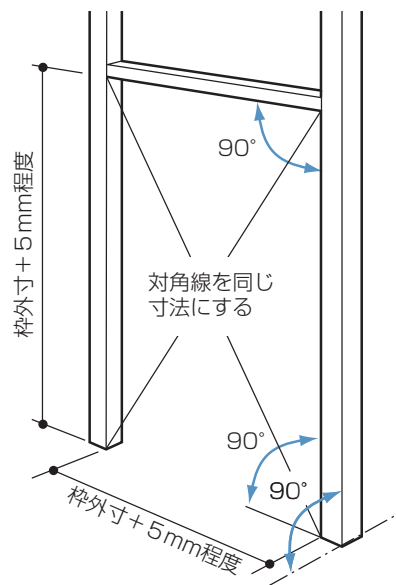
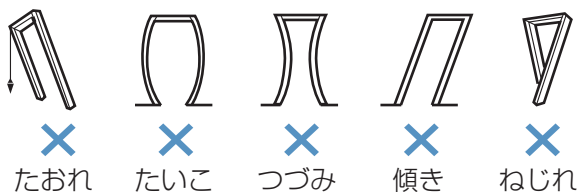
1. 準備

◆開口部の確認をしてください。

- ・開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。
- ・枠組み立て時の寸法公差を考慮し、開口寸法は枠外寸+5mm程度確保してください。
- ・柱の垂直、床・まぐさの水平を、下げ振り・水準器でよく確認してください。

柱、床、まぐさの水平、垂直がでていないと下図の原因となり、扉が閉まらなかったり、遮音性能を確保できない場合があります。

注意



◆梱包をあけて、不足部品がないか確認してください。

施工の前に

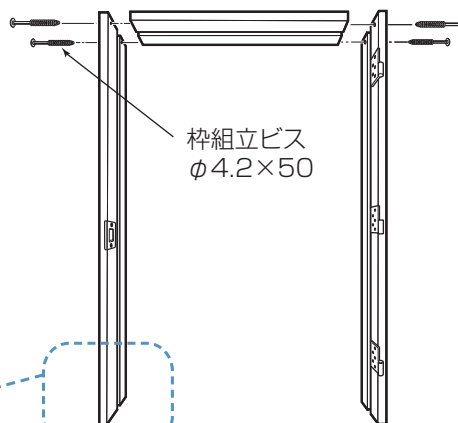
- ・本製品は、高さカットなしで床上に施工する仕様としております。枠をカットせずにお使いください。
- ただし、枠を床仕上材（カーペット等を含む）に埋め込む場合、仕上面から扉下端までのクリアランスが4mmになるように縦枠の下に床仕上材の厚み分のスペーサーを挟む等して調整してください。 ※縦枠伸ばし特注品を除く。

2. 枠の組み立て

枠を組み立てます。

同梱の枠組立ビスで固定ください。

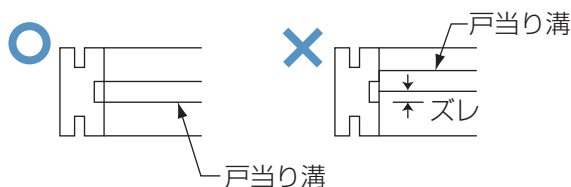
! 枠をカットせずにお使いください。



本製品の標準品は、高さカットなしで床上に施工する仕様としております。

枠の切断不要

! 縦枠と上枠の戸当り溝位置がズれていないことを確認して組み立ててください。戸当り溝の位置がズれると音漏れの原因になります。



※図は見切枠による例

3. 開口部への枠の取り付け

① 枠を開口部にはめこんで丁番側の枠の上側丁番ベース中央部の戸当たり溝を同梱の枠調整ビスで仮固定します。

❗ 枠調整ビスは木材下地の場合のみ。軽量鉄骨下地の場合、ビスは現場で手配してください。

❗ 薄壁枠には枠調整ビスは同梱しておりません。ビスは現場で手配してください。

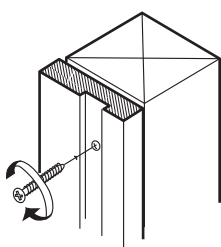
② 下げ振りを使って垂直をだしてから、丁番側の枠の下側丁番ベース中央部の戸当たり溝から枠調整ビスで仮固定します。

③ 水準器で上枠の水平を見ながらラッチ側の枠の上部を枠調整ビスで仮固定します。

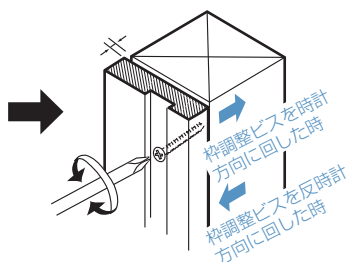
④ 下げ振りを使って垂直をだしてから、ラッチ側の枠の下側を枠調整ビスで仮固定します。

⑤ 枠の左右調整は次のようにおこなってください。

木下地の場合

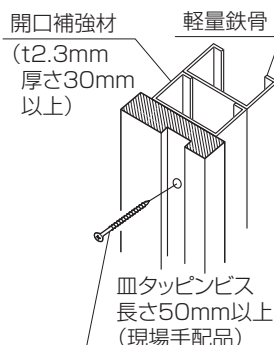


(1) まず枠調整ビスで枠を固定します。



(2) 枠調整ビスを回すことで、柱と枠の間隙を調整することができます。

軽量鉄骨下地の場合



※軽量鉄骨などの下地の場合、製品に同梱の枠調整ビス(φ5.3×55)は使用できません。皿タッピングビス長さ50mm以上(現場手配)を使用してください。

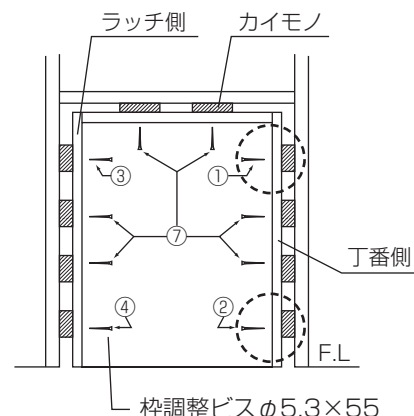
❗ 枠調整ビスでの調整には必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーを使用すると、ビス頭がつぶれ調整ができなくなります。

❗ 丁番の調整は施工後の経時変化のための微調整ですので、枠の調整はしっかりおこなってください。

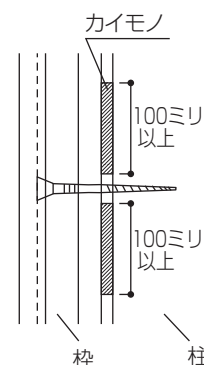
⑥ 調整後、枠調整ビスの上下に木工ボンド(現場手配)を塗ったカイモノ(幅=柱幅程度×高さ=100ミリ以上)を入れてください。

❗ カイモノを入れないと、枠がぐらつき、丁番が破損したり、壁と枠の間に隙間が発生するおそれがあります。

⑦ 枠の前後、左右のたわみがない様に調整後カイモノをして、残りの枠調整ビスで本固定してください。



①②③④部分のカイモノは下図のようにビスの上下に入れてください。必ずカイモノに酢酸ビニル樹脂系エマルジョン接着剤(木工用)*を塗ってください。
※現場手配品

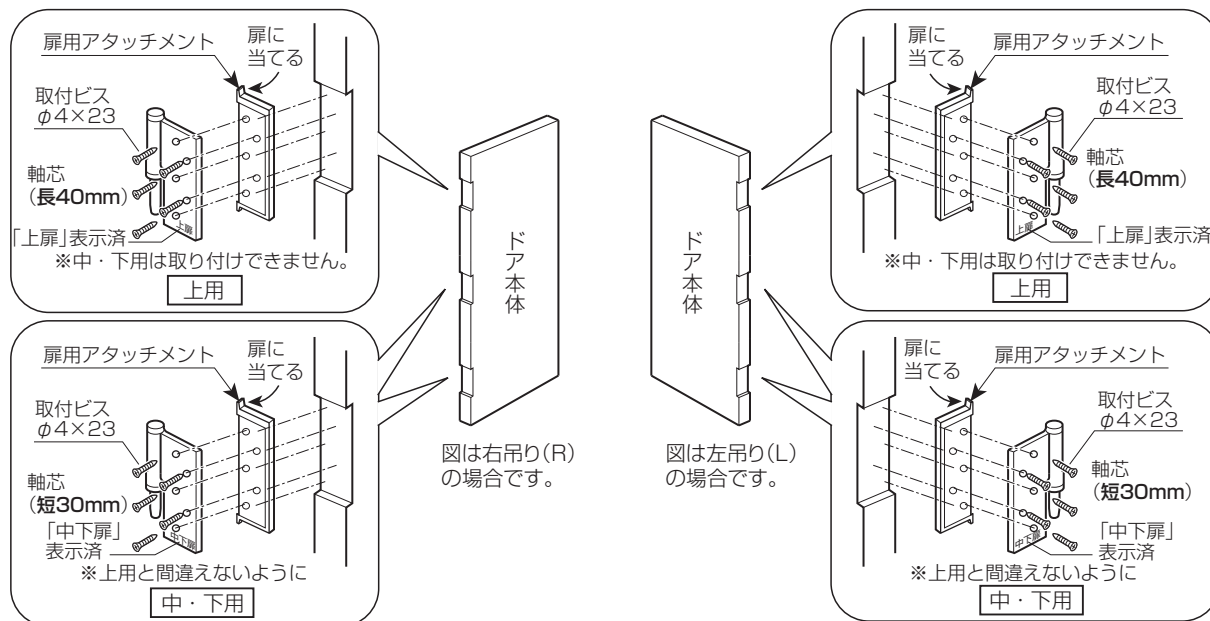


4. 扉の吊り込み **ドアクローザ用丁番(2管丁番)の場合**

①同梱の扉用アタッチメントをドアの切欠きに当て扉側丁番を取付ビス（φ4×23）で取り付けます。

⚠注意

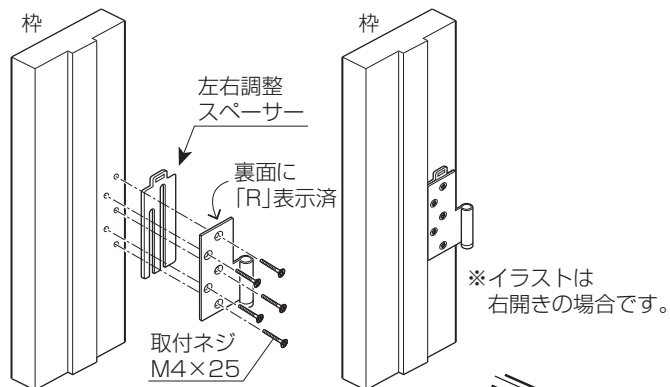
- 上用丁番は赤色の袋（上用専用）、中用・下用丁番は透明の袋に入っており、同じものです。
- 丁番は上用と中・下用があります。丁番の刻印を確認し、上下を間違えないように取り付けてください。
- 扉は左右兼用になっていますので右吊・左吊に注意して 扉側丁番を取り付けてください。
- 丁番取付ビスは確実に締めつけてください。締めつけがゆるいと使用中に扉が脱落するおそれがあります。



② 枠の下穴に同梱の左右調整スペーサーを1枚当て枠側丁番を取付ネジ（M4×25）で取り付けます。（上・中・下3箇所）

⚠注意

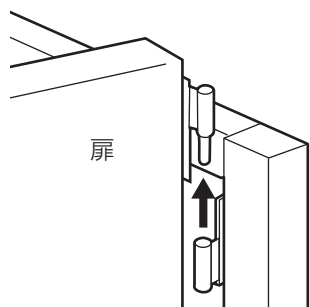
全てのビスやネジを取り付けた後、再度増し締めをしてください。
締めつけがゆるいと使用中に扉が脱落するおそれがあります。



③ 扉を枠に吊り込みます。

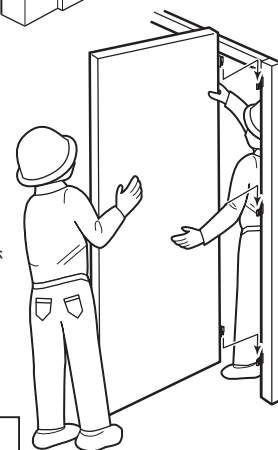
●扉の外しかた

- ・メンテナンス時など扉を外す際には、吊り込み時とおなじく、扉を90°開き、真上に持ち上げて取外してください。



※吊り込みは扉を90°開いた状態で行ってください。

※イラストは右開きの場合です。



⚠注意



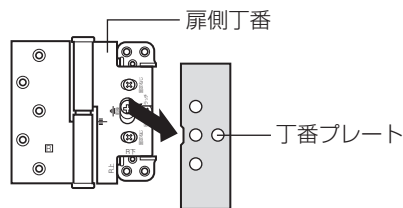
- ・扉が重いため吊り込みは必ず2人で行ってください。1人で行うと扉を落下させて怪我をしたり、床などに傷をつける恐れがあります。

4. 扉の吊り込み

調整丁番の場合

※イラストは右開きの場合です

①扉側丁番に付いている丁番プレートを外します。



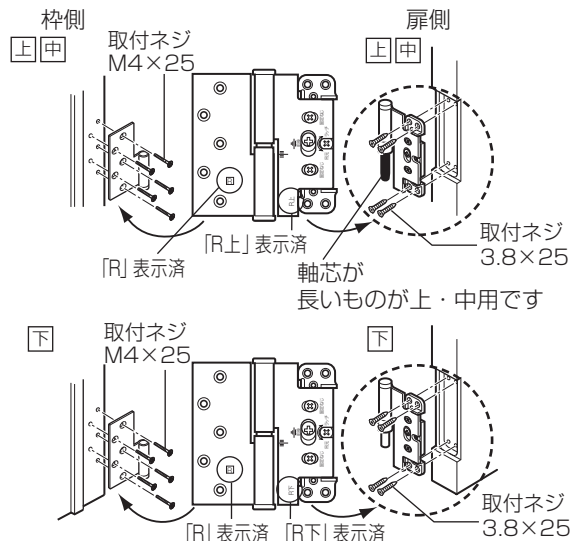
②扉に扉側丁番を同梱のビス（ $\phi 3.8 \times 25$ ）で、
枠に枠側丁番を同梱のネジ（ $M4.0 \times 25$ ）で
取り付けます。

※上用・中用丁番は赤色の袋、下用丁番は透明の袋に入っています。

※扉側丁番の上用と中用は同じものです。

※扉は左右兼用になっていますので右吊・左吊に注意して
扉側丁番を取り付けてください。

※締めつけがゆるいと使用中に丁番が
破損したり扉が脱落するおそれがあります。

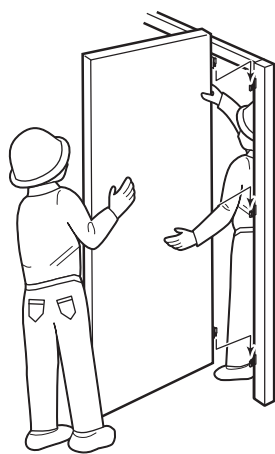


❗ 丁番の上用、中用、下用を
間違えていないか確認してください。

❗ 全てのネジを取り付けた後再度増し締めをして
ください。締めつけがゆるいと使用中に丁番が
破損したり扉が脱落するおそれがあります。

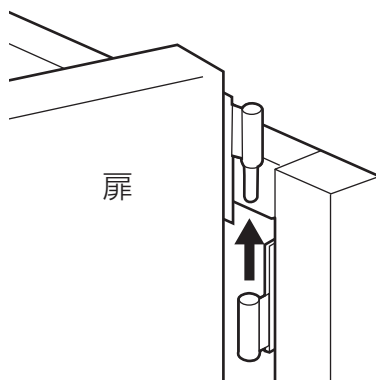
③扉を枠に吊り込みます。

❗ 吊り込みは扉を90° 開いた状態
でおこなってください。



●扉の外しかた

・メンテナンス時など扉を外す
際には、吊り込み時とおなじく、
扉を90° 開き、真上に持ち
上げて取外してください。



⚠ 注意

❗ 扉が重いため吊り込みは必ず2人で行ってください。
1人で行うと扉を落下させて怪我をしたり、床などに傷をつける恐れがあります。

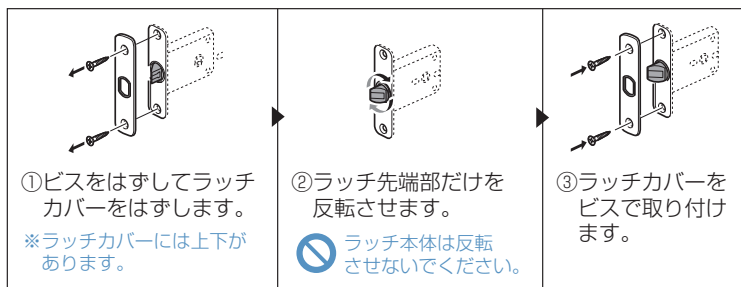
5. レバーの取り付け

把手座とレバーハンドルを取り付けます。

※取り付け方法は把手セットに同梱の取付説明書をご覧ください。

◆左吊元扉の場合は右の通りラッチの先端の向きを反転させてください。

※扉は出荷時は右吊元になっています。



6. 調整戸当たりの取り付け

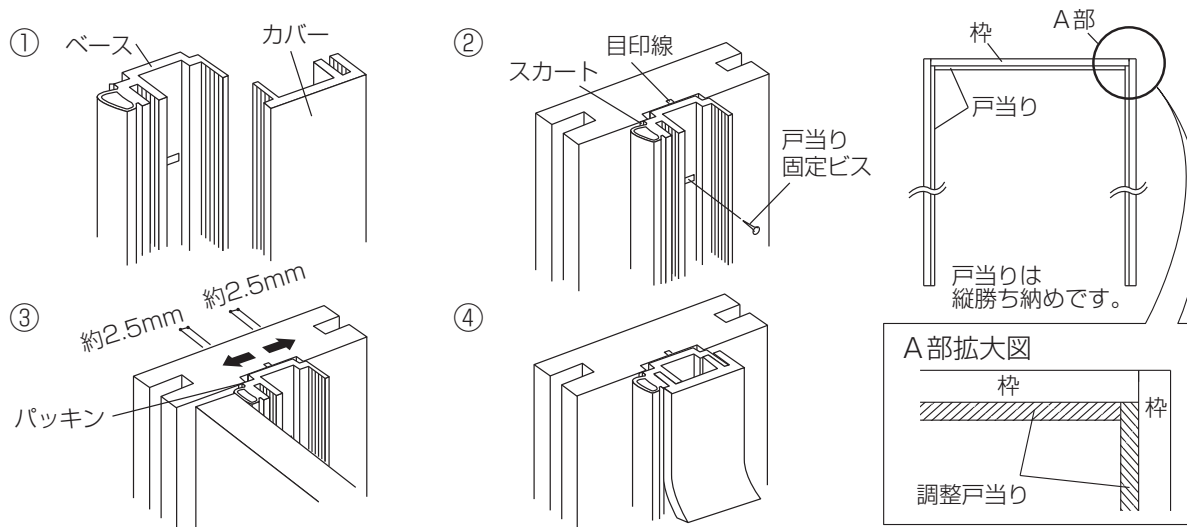
①ベースを枠の内寸にあわせてカットしてください。短くなりすぎると音漏れの原因となりますのでご注意ください。カットする際に、枠調整ビスのビス穴と戸当り固定ビスのビス穴が重ならないようご注意ください。カバーは1mm程度短めにカットし、強く突きつけないようにしてください。戸当りは縦勝ち納めです。

②戸当りのベースをドア枠の溝の目印線にあわせて、上から順にスカート部をかみ込まないように、付属の戸当り固定ビスで仮留めしてください。ビスを締め込んでしまうと調整が出来ませんのでご注意ください。

③ドアを閉めた時に、パッキンが隙間なく扉と接するように、ベースを動かして調整し、戸当り固定ビスを本固定してください。ベースは前後に約2.5mm動かせます。

④カバーをドア枠上端からしっかりとめ込んでください。

※丁番、調整ラッチ受け等の調整が必要な時は、すべての調整が終わった後にカバーをはめ込んでください。



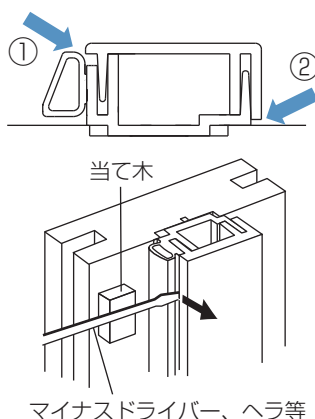
⚠ 戸当りの取付けは電動ドライバーまたは手動ドライバーで行なってください。インパクトドライバーはトルクが強クビス頭を潰す恐れがありますので、使用しないでください。

●調整戸当たりの調整方法

調整戸当りの外し方

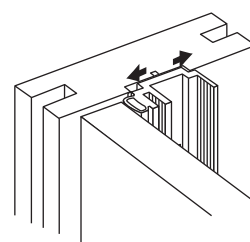
・戸当りカバーはパッキン横の溝部分(上図①)またはパッキン裏側のカバーと枠の隙間(上図②)にマイナスドライバー、ヘラ等を差し込んで下図の方向へ取り外してください。

(当て木を使ってドア枠などにキズが付かない様慎重に取外してください。)



調整戸当りの調整方法

・戸当りの調整はビスを緩めて、前後に動かし、ドアを閉めた時にパッキンが隙間なく扉と接するように調整し固定してください。



戸当り固定ビスを緩めて前後に調整する。

7. 丁番の調整 **ドアクローザ用丁番(2管丁番)の場合** ※イラストは右開きの場合です。

扉と枠のクリアランスが P10 クリアランスチェックシートの許容値内に収まるように、丁番の調整にて扉の傾きを調整してください。許容値内に収まらない場合は再度枠の建て付けを調整ください。

左右方向の調整 (調整可能範囲 2mm (+1, -1mm))

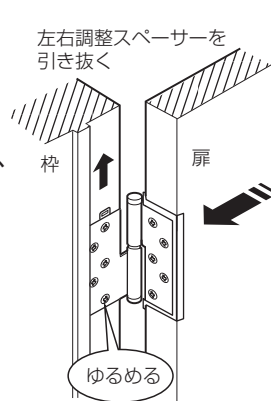
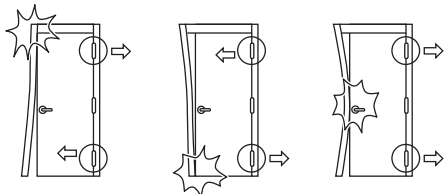
- 枠側の丁番取付ネジをゆるめ、左右調整スペーサーを上方向へ引き抜くことで扉を1mm戸当り側へ寄せる方向に調整できます。
- 枠側の丁番取付ネジをゆるめ、**別売り**の左右調整スペーサーを1枚追加することで扉を1mm戸当りから離す方向に調整できます。

別売り

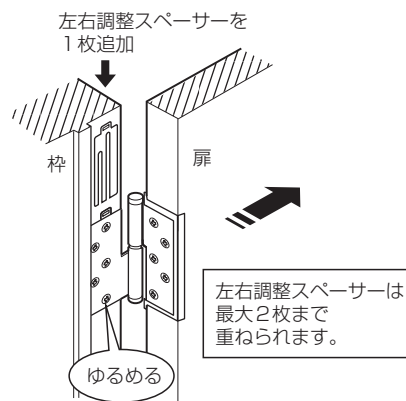


品番) AD5AS-3
左右調整スペーサー3枚入

扉を開閉して、枠とあたる部分が下図の位置の場合、○印のついた丁番を矢印：⇨の方向に調整してください。



扉を戸当りへ寄せる



左右調整スペーサーは最大2枚まで重ねられます。

扉を戸当りから離す

※扉が自動的に開閉してしまう時は、扉が枠にあたらない範囲で以下の調整を行ってください。

- ・扉が閉まってくる場合…上丁番を戸当りから離し、下丁番を戸当りへ寄せる方に調整してください。
- ・扉が開いてくる場合…上丁番を戸当りへ寄せ、下丁番を戸当りから離す方向に調整してください。

※丁番の調整が終わったら、必ず枠側の丁番取付ネジを締めてください。

注意

- 調整後は丁番取付ビスは、ゆるみ・ガタツキがないようにしっかり締付けてください。締めつけがゆるいと使用中に扉が脱落するおそれがあります。
- 左右調整スペーサーは**3枚以上重ねない**でください。丁番が固定できず扉が脱落するおそれがあります。

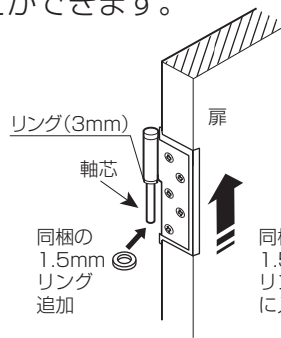
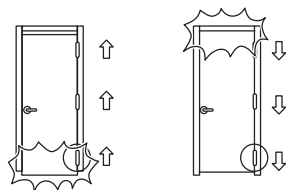
上下方向の調整 (調整可能範囲 3mm (+1.5, -1.5mm))

- 扉を枠から外し、扉側の丁番の軸芯に同梱の上下調整用リング (1.5mm) を追加することで扉を1.5mm上げることができます。
- 扉を枠から外し、扉側の丁番の軸芯に取り付いているリング (3mm) を同梱の上下調整用リング (1.5mm) に入替えることで扉を1.5mm下げることができます。

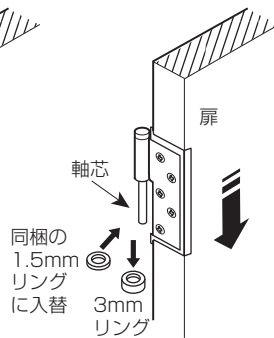
扉を開閉して、枠とあたる部分が下図の位置の場合、矢印：⇨の方向に調整してください。

注意

- 扉側の丁番の軸芯には、上用・中用・下用とも**同じ厚みのリング**を入れてください。
- 丁番の軸芯にはリングを必ず入れてください。(異音発生の原因となります。)



扉を上げる



扉を下げる

前後方向の調整

丁番では調整できません。ラッチ受けの調整 (P11) を参照ください。

7. 丁番の調整

調整丁番の場合

扉と枠のクリアランスが P10 クリアランスチェックシートの許容値内に収まるように、丁番の調整にて扉の傾きを調整してください。許容値内に収まらない場合は再度枠の建て付けを調整ください。

手順

- 固定ネジ ゆるめる
- ↓
- 調整ネジ で調整
- ↓
- 開閉して隙間等確認
- ↓
- 固定ネジ しめる

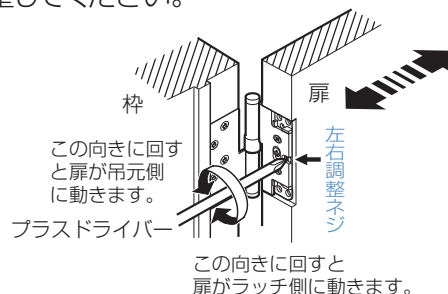
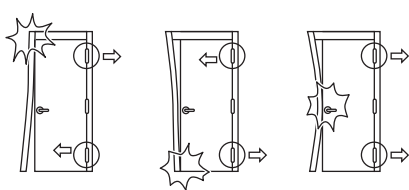
! 固定ネジは確実に締めつけてください。締めつけがゆるいと使用中に固定ネジがゆるみ丁番が破損したり扉が脱落するおそれがあります。

! 丁番の調整には必ず手動ドライバーをご使用ください。

左右方向の調整

(調整可能範囲4mm)

扉を閉鎖して、クリアランスが狭い部分が下図の位置の場合、○印のついた丁番を矢印： ⇨ の方向に調整してください。



※扉が自動的に開閉してしまう時は、扉が枠にあたらぬ範囲で以下の調整をおこなってください。

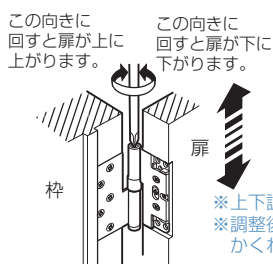
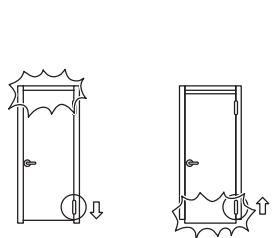
- ・扉が閉まってくる場合…上用丁番にて扉を丁番側に寄せる
- ・扉が開いてくる場合…上用丁番にて扉をラッチ側に寄せる

※丁番の調整が終わったら、必ず固定ネジを締めつけてください。

上下方向の調整

(調整可能範囲4mm)

扉を閉鎖して、クリアランスが狭い部分が下図の位置の場合、○印のついた丁番のキャップをはずし、矢印： ⇨ の方向に調整してください。



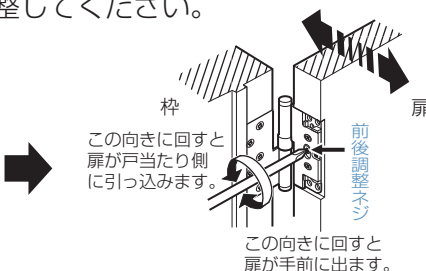
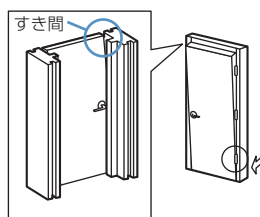
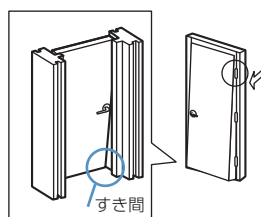
※上下調整は下用の丁番のみです。
※調整後、上用・中用丁番扉側キャップを軸が
かかれる位置に移動してください。

※調整が終わったら、キャップを取り付けてください。(固定ネジはありません)

前後方向の調整

(調整可能範囲4mm)

扉を閉鎖して、扉と戸当たりの間にすき間が出来た部分が下図の位置の場合、○印のついた丁番を矢印： ⇨ の方向に調整してください。

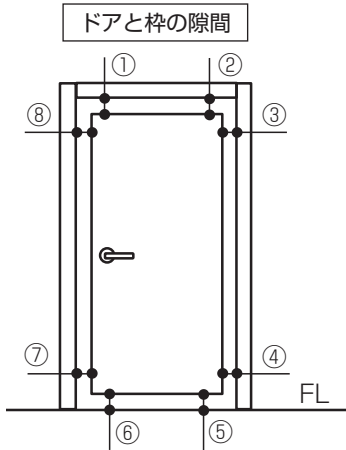


! 丁番の調整が終わったら、必ず固定ネジを締めつけてください。

! 丁番の前後調整ですき間が解消しない場合は「6. 調整戸当りの取り付け」を参照し、戸当たりを再度調整してください。すき間があると音漏れの原因となります。

7. 丁番の調整(つづき)

! 隙間調整後に、必ず下記①～⑧のドアと枠、床の隙間を測定し、下記クリアランスチェックシートに記入し建付精度をご確認ください。



クリアランスチェックシート

番号	実測値 (mm)	許容値 (mm)
①		3.0~5.0
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		

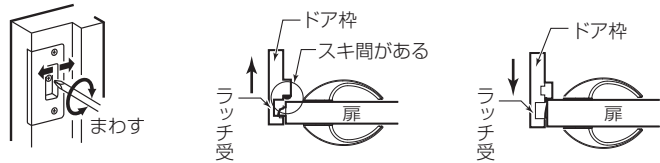
! 上記実測値が1つでも許容値から外れている場合は、すべて許容値内に収まるように枠の建付けを再度調整してください。

8. ラッチ受けの調整(レバーハンドルの場合)

扉がガタついたり、ラッチがかかりにくい場合はプラスドライバーで調整ラッチ受座を調整してください。

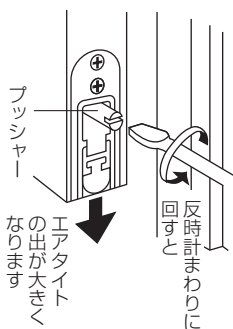
調整ラッチ受座の操作方法

(調整可能範囲5mm) <ドアがガタつく場合> <ラッチがかからない場合>



9. エアタイトパッキンの調整

下図を参照し、エアタイトパッキンを調整してください。



ドアを閉めると、エアタイトパッキンのプッシャーが枠に当たりエアタイトゴムがドア下部をシールします。シール圧調整はプッシャーを引き出すと強くなります。床とエアタイトゴムの間に紙を敷いて引き抜き、軽く抵抗を感じる程度が最適です。

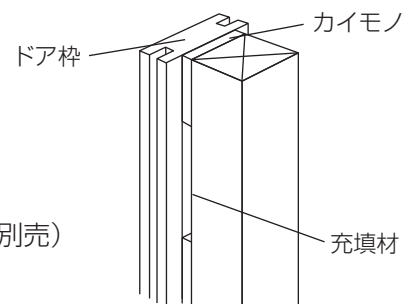
! 出荷時はエアタイトパッキンが引っ込んだ状態になっています。必ず調整を行なってください。

! エアタイトパッキンは扉が閉まった時にパッキンが床面に軽く接触するように調整してください。床面とパッキンの接触が強いと開閉時のこすりで摩耗し、床面を傷めたり、パッキンの磨耗を早める恐れがあります。

10. ドア枠と躯体のすき間処理

ドア枠と開口部のすき間があれば音が漏れ、防音ドアの性能が発揮できません。すき間を次の材料で埋めてください。

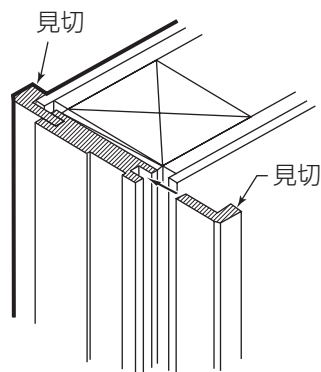
- ・遮音隙間充填材 (別売)
- ・気密遮音コーキングN (別売)
- など



●見切枠の場合

12. 見切の取り付け

壁の施工が終了してから、見切を取付けてください。



見切に酢酸ビニル樹脂系エマルジョン接着剤(木工用)*を塗布してください。
 その際、ラッチ受座位置の部分には塗布しないでください。
 ラッチ受けの調整ができなくなる場合があります。
 見切は現場にて現物合せしてカットしてください。
 ※現場手配品

13. ドアクローザ(オプション)の取り付け

ドアクローザを取り付けます。

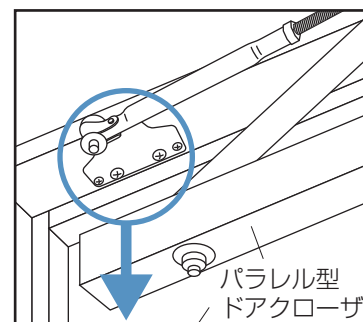
※取り付け方法・調整方法はドアクローザに同梱の取扱説明書をご覧ください。

※見切枠の場合ドアクローザは弊社指定の平行型のみご使用になれます。

! 平行型ドアクローザのブラケットは上枠の調整戸当りから6~8mm離れた位置(右図参照)に取り付けてください。6mm以内の位置に取り付けると戸当り調整が出来なくなります。

! 閉じ速度は、ドア開き角度90°~0°までを5秒以内の適正速度にしてください。閉じ速度を遅くしすぎると、丁番を傷める原因となります。

! その他使用上のご注意は、ドアクローザに同梱の「ドアクローザ付きドア使用上のご注意」を必ずご確認ください。

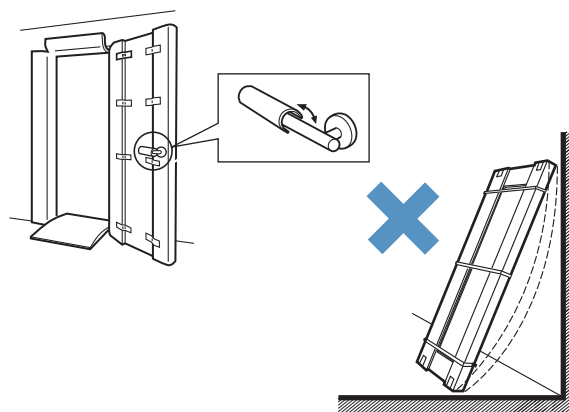


14. 養生

工事が完成するまで扉・枠をダンボールなどで養生してください。養生テープを製品に直接貼るとシートや塗装を傷める場合がありますので、直接貼らないようにしてください。

! 金具は布・ミラーマットなどで養生してください。

⊘ 扉を壁にたてかけて保管しないでください。

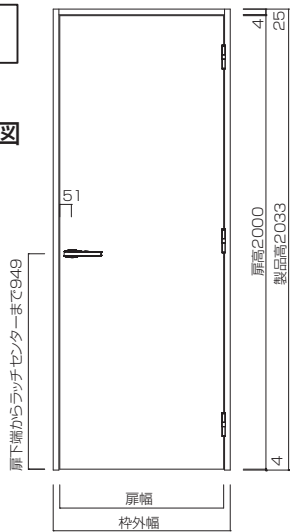


5. 製品寸法図

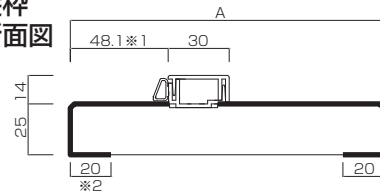
(単位：mm)

固定枠

■正面図

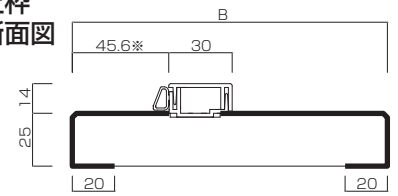


■縦枠断面図



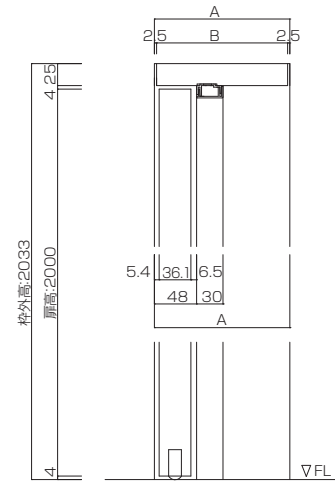
- ※1 戸当りの調整により±2.5mm変動します。
- ※2 丁番側縦枠は裏面の化粧部分に金具の彫込み加工があるため、裏面の有効化粧幅は枠側面から約13mmとなります。

■上枠断面図

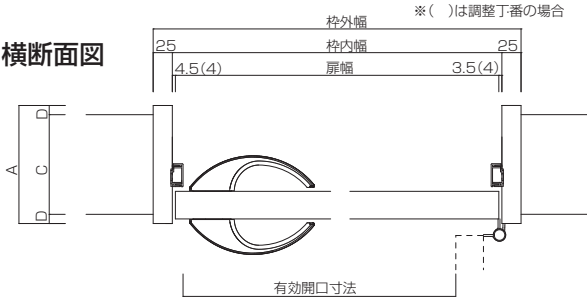


- ※ 戸当りの調整により±2.5mm変動します。

■縦断面図



■横断面図



枠外幅	755	780	875
枠内幅	705	730	825
扉幅	697	722	817
有効開口寸法	631	656	751

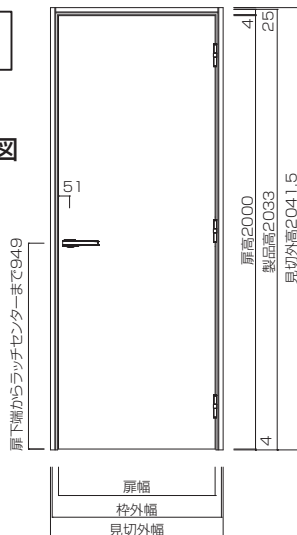
(単位:mm)

見込み呼称	縦枠全幅 A	上枠全幅 B	代表壁厚 C	チリ D	(単位:mm)
固定枠 113	113	108	90	11.5	
固定枠 139	139	134	119	10	
固定枠 149	149	144	125	12	
固定枠 154	154	149	130	12	
固定枠 169	169	164	145	12	

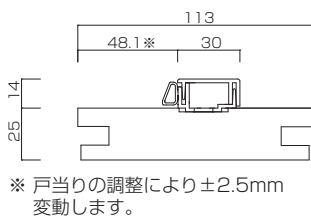
※A、B、C、Dは、
枠断面図および
横断面図、縦断面図
を参照。

見切枠

■正面図

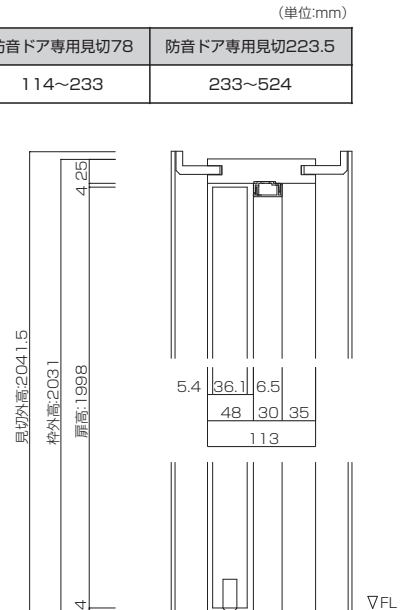


■縦枠・上枠断面図

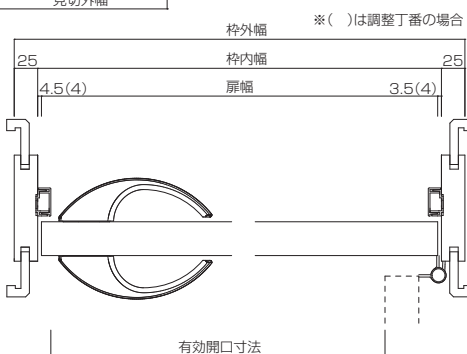


- ※ 戸当りの調整により±2.5mm変動します。

■縦断面図



■横断面図




枠外幅	755	780	875
見切外幅	772	797	892
枠内幅	705	730	825
扉幅	697	722	817
有効開口寸法	631	656	751


※()内は見切Aの場合

1. 安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと)




この説明書に書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や物的損害を防ぐためのものです。必ずお守りください。

警告表示の種類と内容

	警告	誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のある内容
---	-----------	-------------------------------

	注意	誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつく内容
---	-----------	---------------------------------

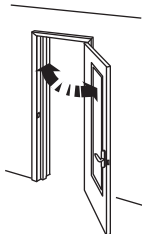
本文中に使われている図・記号の意味は次のとおりです。

	してはいけない内容です		必ず実行していただく内容です		お願い 留意事項、操作方法、使用・お手入れ方法等
---	-------------	---	----------------	---	-----------------------------

⚠ 注意

お願い

扉の開閉は、静かに
おこなってください。
乱暴に扱うと扉が破
損したり脱落する恐
れがあります。



扉を開閉するときは、指をはさまないように注意してください。

扉の開閉時に、扉、枠、レバーハンドル、戸当り間の隙間などに指や足をはさみ、けがをするおそれがあります。

特に乳幼児が単独で開閉操作をおこなわないよう、また、乳幼児が近くにいる時の扉の開閉に十分ご注意ください。



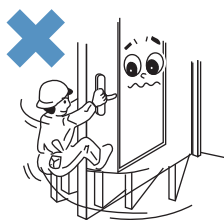
この製品の分解や改造はしないでください。
製品強度が失われ、けがや破損の原因になります。



戸当りに強い衝撃を与えないようご注意ください。パッキン取り付け溝が破損する恐れがあります。



把手にぶら下がったり、扉にもたれかかったり、強い衝撃でぶつかったりしないでください。
扉が破損したり、脱落するおそれがあります。



ガラスに強い衝撃を与えたり、物をぶつけたりしないでください。ガラスが割れるおそれがあります。特にご高齢の方や小さなお子様には十分ご注意ください。



ドアクローザ (オプション) を使用する場合、防音室など気密性の高い部屋では状況により、ドアを引き込みきらない可能性があります。ドアクローザの速度調整をしても閉まりきらない場合は手でゆっくりと閉めてください。



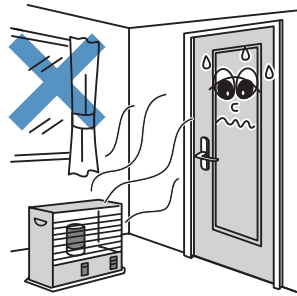
ドアクローザ (オプション) を使用する場合、無理な力で扉を閉めないでください。丁番を傷める原因となります。



各部のビスがゆるんだまま使用しないでください。部品破損や扉の転倒により、ケガをする原因となります。

2. 使用上のお願い

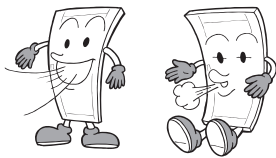
- ❌ ストープなどの熱源を、扉に近づけないでください。扉が反ったり、表面がゆがんだりするおそれがあります。



- ❌ 製品にプラスチックやビニールなどの樹脂製品やゴム製品を長期間接触した状態にしないでください。塗装との化学反応により、接触面が軟化したり、ベトツキ現象や色の移行を起こす原因になります。
- ❌ 製品にセロハンテープやシールなど、粘着性のあるものを貼付けないでください。表面化粧がはがれたり、接着剤が付着する可能性があります。
- ❌ 製品に飲み物をこぼしたままにしたり、ぬれ雑巾などを放置しないでください。表面材の変色・はがれ・ひび割れ・そりの原因になります。必ず水分が残らないように拭き取ってください。

木質扉の反りについて

木材を原料とする木質材料（合板、パーティクルボード、MDFなど）を加工して作られた内装ドアは、空気中の水分を吸収したり放出したりすることによって、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は、内装ドア周辺の温度、湿度などの環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に内装ドアの室内側と室外側とで環境条件が大きく異なる場合、木質材料に「反り」という現象が発生することがあります。



「反り」の発生をできるだけ抑える方法について

ご使用の環境や設置場所によって「反り」が発生する場合があります。「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。

- ① エアコン、暖房器具などをお使いになる場合は、製品に直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。
- ② 夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房などにより、内装ドアの室内側と室外側との環境条件の差を極端に大きくしないでください。
- ③ 製品に直射日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、スタレなどを設けて日光を遮ってください。

発生した「反り」は、内装ドアの室内側と室外側との環境条件を近づけることによって、小さくなる場合があります。

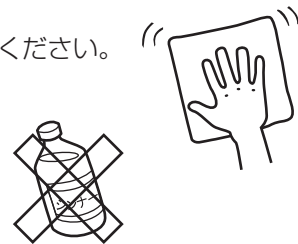
3. お手入れのしかた

お願い

扉や枠の清掃は、乾拭き又は中性洗剤を薄めて、硬く絞って拭いてください。シンナー・ベンジン等を使用すると、表面の艶が変わったり、変色する場合がありますので、避けてください。

お願い

ガラスや樹脂の採光部の清掃は水または薄めた中性洗剤を用いて、柔らかい布で軽く拭いてください。



消毒によるお手入れ

抗ウイルス機能を持つ以下の部位は消毒によるお手入れができます。薬品を表面に付着後、家庭用中性洗剤を含ませた固く絞った布で素早く拭き取り、薬品成分を表面に残さないようにしてください。

〈消毒によるお手入れができる部位〉

- 扉表面
- レバーハンドル



- 長年のご使用により、表面が変質を起こす場合があります。
- 薬品の種類や放置時間によって、変色する場合があります。

※消毒に使用する薬剤や濃度については、厚生労働省等の発行する各種ガイドライン等をご確認ください。

アルコール（消毒用エタノール）

市販濃度（76.9～81.4%）で使用可能

塩化ベンザルコニウム（界面活性剤）

0.1%以下の濃度に薄めて使用可能

次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）

0.5%以下の濃度に薄めて使用可能
・日常清掃：0.05%以下
・吐しゃ物などの消毒：0.5%以下

イソプロピルアルコール（イソプロパノール）

市販濃度（70%）で使用可能

■定期的な点検項目

製品の長期間の使用に伴い、部品等が劣化（経年劣化）を生じ安全上支障がでるおそれがあります。経年劣化による重大事故を防止し、製品を長く安全にご使用いただくために、お客様自身による下記の点検を実施いただきますよう、お願いします。

点検部位	点検項目	兆候有無	経年劣化に伴う、具体的な事象	対策
本体 丁番	丁番の止めつけビスに緩みがある。 扉の開閉がしにくい。 (扉の開まりが悪い、扉が枠にあたる)	有・無	丁番またはラッチの変形や破損 扉のガタツキや脱落	丁番の止めつけビスを締めなおしてください。
レバー ハンドル	ガタツキがある。 レバーハンドルが下がる。	有・無	内部部品が破損して、ドアが開閉できない(閉じ込め)。	施工業者様へご連絡いただき、交換をおすすめします。
ラッチ・錠前	ラッチが滑らかに動かなくなった。 ラッチが最後まで戻らない。	有・無	内部部品が破損して、ドアが開閉できない(閉じ込め)。 ドアの建付け変化により、ドアの開閉がしづらくなる。	施工業者様へご連絡いただき建付け調整、錠前の交換等をおこなってください。

※調整方法につきましては、施工説明書をご参照ください。
調整実施後に症状が改善されない場合は直ちにご使用を中止し、施工業者様へ連絡してください。

DAIKEN製品の品質保証について

弊社では、下記対象製品について、「保証期間一覧表」に示す期間、保証事項に記す内容に基づき、無料で修理させていただきます。保証期間経過後の修理については有料となります。

■対象製品

OMOIYARI防音ドア片開き [G30]

■保証事項

通常的环境下にて、弊社の施工説明書・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態（前提条件）で、弊社の責任に起因する製品不具合（保証期間一覧表参照）を無料で修理します。なお、本内容は日本国内においてのみ有効です。
※修理とは、壊れたり傷んだりした部分に手を加えて、再び使用できるようにすること。（原則、新品交換は含みません）

■保証期間

弊社製品の施工完了後、または物件の引渡後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を無料で修理する期間としております。（保証期間一覧表参照）
保証期間経過後の修理については有料となります。

保証期間一覧表

保証事項	保証期間		
	保証箇所	保証対象となる不具合現象	
使用上の著しい支障が生じないこと	扉枠	開閉不良(変形・変質により開口部材としての機能が損なわれる等)	
外観上の著しい変形・変質が生じないこと		変形、変質(反り、ハガレ、クラック)	
		起算時期	2年

※1:「著しい」の定義
正常な施工・使用状態のもとで経過時間を考慮し、客観的に見て通常の状態から逸脱している度合いが極めて大きいことをいいます。
※2:保証期間起算時期について
保証事項が「使用」に係るものについては、保証期間を「物件引渡後」から起算します。それ以外のものについては、「当該製品施工完了後」から起算します。

■製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても「有料扱い」になります。

- ①建物の設計・施工に起因する不具合
- ②施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
- ③自然現象・周辺環境等(※1)の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れ又はその他の不具合
- ④室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取り付けられたことによる隙間・反り・キシミ音などの不具合
- ⑤極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取り付けられたことに起因する不具合
- ⑥建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合
- ⑦入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する不具合
- ⑧取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合
- ⑨経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変色、汚れ、さび、かび、劣化磨耗などの不具合
- ⑩用途外に使用された場合の故障および損害
(例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合等)
- ⑪犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合やキクイムシなどの虫害に起因する不具合
- ⑫仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合
- ⑬保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合
- ⑭製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する場合
- ⑮離島などの遠隔地へ出張を要する修理を行う場合、出張に要する実費
- ⑯床面との摩擦によるエアタイトパッキンの損耗
- ⑰その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合

※1:周辺環境等:火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

注意:遮音性能は保証の対象外とします。なお遮音性能は一定の条件下で測定された数値であり、施工現場または居住後における性能を保証するものではありません。

ユーザー登録サービス

このたびは DAIKEN製品をお求めいただき誠にありがとうございます。製品を末永く安全にご愛用していただくために、ユーザー登録をお願いいたします。ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報を DAIKEN からご連絡する際に、ご利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です!!

登録はこちらから

<https://www.daiken.jp/qr/user/>



部品交換・メンテナンス用品のご購入は

DAIKEN パーツショップ

DAIKEN パーツショップ

検索

<https://service.daiken.jp/qr/service/>



製品に関するお問合せは

お客様センター

0120-787-505

受付時間:平日9:00~17:00
(土・日・祝日・年末年始・夏期休暇は休みとなります。)
総合カタログに掲載していない製品は、ご提案のあった工事店様や販売店様を通して、弊社営業窓口にお問い合わせください。
よくあるご質問、施工・取扱説明書情報、カタログのご請求・閲覧などはお客様サポートからも確認いただけます。

DAIKEN お客様サポート

検索

<https://www.daiken.jp/contact/>



メールで写真も送ることができます。

DAIKEN株式会社

DAIKENのホームページアドレス
<https://www.daiken.jp/>

ご相談窓口における
個人情報のお取り扱い

DAIKEN株式会社及びDAIKENグループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針(プライバシーポリシー)」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。(DAIKEN工業株式会社プライバシーポリシーに関しましては、当社ホームページに掲載しております。)尚、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただくためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

防音・音響仕様のお問合せは

サウンドセンター

東京 TEL(03)6271-7785 大阪 TEL(06)6205-7245

受付時間:平日10:00~17:00
(土・日・祝日・年末年始・夏期休暇は休みとなります。)